

製品名: KDR マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM80776**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	ICC,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	152kDa

抗原情報

遺伝子名	KDR
別名	FLK1; CD309; VEGFR; VEGFR2
遺伝子 ID	3791.0
SwissProt ID	P35968
免疫原	HEK293 細胞で発現した hlgGfc タグと融合したヒト KDR (aa20-764) の精製された組み換え細胞外断片。

背景

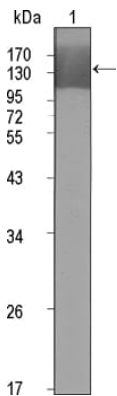
KDR は、VEFR-2（血管内皮増殖因子受容体 2）、CD309（分化クラスター 309）、Flk1（胎児肝キナーゼ 1）とも呼ばれています。

血管内皮増殖因子 (VEGF) は、内皮細胞の主要な増殖因子です。KDR は、VEGF の2つの受容体の1つです。キナーゼ挿入ドメイン受容体として知られるこの受容体は、III型受容体チロシンキナーゼです。VEGF誘導性の内皮細胞の増殖、生存、遊走、尿細管形態形成および発芽の主要なメディエーターとして機能します。この受容体のシグナル伝達と輸送は、Rab GTPase、P2Yプリンヌクレオチド受容体、インテグリン $\alpha\text{V}\beta 3$ 、T細胞タンパク質チロシンホスファターゼなど、複数の因子によって制御されています。この遺伝子の変異は、乳児毛細血管血管腫に関連しています。

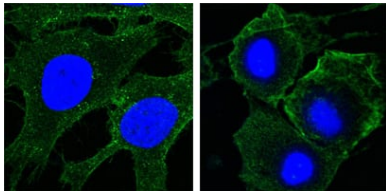
研究分野

TGF- β シグナル伝達経路、PI3K-Aktシグナル伝達経路、Hippoシグナル伝達経路

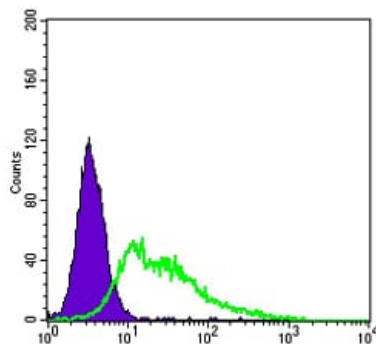
画像データ



ヒト KDR の細胞外ドメイン (aa20-764) に対する KDR マウス mAb を使用したウエスタンブロット分析。



KDR マウス mAb (緑) を用いた HeLa 細胞 (左) および HepG2 細胞 (右) の共焦点免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。



KDR マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (紫) を使用した HepG2 細胞のフローサイトメトリー分析。